

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	コミュニケーション 英語 I	3	1	PRO-VISION English Communication I	予習ノート

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> *英語を読んで、基本的な英文法能力を元に、内容を理解する能力を伸ばす事。 *様々な話題を通して、国際的な感覚や深い教養、人権意識を身に着ける事。 *発音記号が読めるだけでなく、正しい音を身につけること。 *得られた言語能力を活用して積極的にコミュニケーション活動を図ろうとする態度を育成する。
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・読む・書く・話す・聞く、4技能の言語活動を総合的に展開する。 ・分からない単語を辞書で調べさせ、本文の大体の意味を調べてくる事を予習として徹底させる。 また、授業中においては必要事項は生徒自らメモを取り、自ら調べる態度を養う。 ・新出の単語・文法事項を中心とした重要な言語材料の理解と定着を図る。 ・訳読だけでなく、音声による内容把握にも努める。 ・ALTと日本人教員とのチーム・ティーチングできめ細かい指導を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	L1 The Power to Survive	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了、動詞+wh節、名詞+SV (作家のユーラシア大陸横断のひとり旅) 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 小テスト 宿題・提出物など
5月	L2 The sky's your only limit	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞、動名詞、動詞+人+to do (マラソンレースに臨んだ最初の女子選手について) 	
6月	L3 Chocolate A story of dark and light	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、分詞の形容詞的用法 (チョコレートの様々な側面) 	
7月	L4 Chirori -from stray to therapy dog Reading 1 The night train at Deoli	<ul style="list-style-type: none"> ・過去完了形、動詞+if (whether)節、関係副詞 (セラピードッグを広める運動をしていた人の話) ・夏休みの宿題 	
8・9月	L5 Talking plants	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態、It is ~ that節 (植物が織りなすコミュニケーションの世界をのぞく) 	
10月	L6 Old but new	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that、同格 that、過去の習慣 would (ふるしきが再び注目をあびている話) 	
11月	L7 The power of music to change young lives	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞構文、動詞+現在分詞 (過去分詞)、動詞+名詞+do (doing) (ベネズエラの若き音楽家たちの情熱) 	
12月	L8 Be the hope for the next generation	<ul style="list-style-type: none"> ・使役構文、複合関係代名詞 (whatever, however など)、形式目的語 it (オバマ夫人ミシェルの小さな町の大学でのスピーチ) 	
1月	L9 Snow crystals	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 (非制限用法)、比較の表現、強調構文 (It is ~ that...) (雪の結晶の不思議) 	
2月	L10 Designed for peace, hope and smiles Reading 2 The Umbrella man	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去、動詞+名詞+done、現在完了進行形 (地雷除去作業に活躍している日本製のユニークな機械を作った技術者の熱い思い) ・春休みの宿題 	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	英語表現 I	2	1	POLESTAR English Expression I	デュアルスコープ 総合英語

到達目標	<p>*設定された場面における適切な英語の表現力を養う。</p> <p>*コミュニケーションの基礎となる文法力をつける。</p> <p>*得られた言語能力を活用して積極的にコミュニケーション活動を図ろうとする態度を育成する。</p>
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・1クラスを2つに分け、ペアワークやグループワークを通して、英語で自分の意見を伝え、意見交換することで、生徒自らが表現できるようにする。 ・英語にたくさん触れさせることで「英語で考える」習慣をつけさせ、「書く」「話す」能力を高める ・副教材も使用しながら、構文・文法力を育む ・分からない単語を辞書で調べさせ、与えられた問題をまず自分で解いてくることを予習として徹底させる。 ・新出の単語・文法事項を中心とした重要な言語材料の理解と定着を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	Lesson 1・2	<p>[表現内容]・自己紹介、友人との会話</p> <p>[文法事項]・現在形と過去形</p>	定期考査 出席状況 授業への取り組み 小テスト 宿題・提出物など
5月	Lesson 3・4・5	<p>[表現内容]・予定説明、経験や最近始めたこと、ショートスピーチ</p> <p>[文法事項]・未来形・現在完了形・過去完了形</p>	
6月	Lesson 6・7・8	<p>[表現内容]・自分にできること、許可、助言する</p> <p>[文法事項]・助動詞（1）～（3）</p>	
7月	Lesson 9・10	<p>[表現内容]・可能性や推量を表わす、実現しなかった過去など</p> <p>[文法事項]・助動詞（4）（5）</p>	
8月	Lesson 11	<p>[表現内容]・～されるという受け身の表現</p> <p>[文法事項]・受動態（1）</p>	
9月	Lesson 12・13・14	<p>[表現内容]・建造物の説明、道案内、J-popなどの紹介</p> <p>[文法事項]・受動態（2）、不定詞（1）（2）</p>	
10月	Lesson 15・16・17	<p>[表現内容]・料理、英語学習へのアドバイス、日本の昔話、日記、温暖化が与える影響など</p> <p>[文法事項]・動名詞、分詞、分詞構文</p>	
11月 12月	Lesson 18・19・20	<p>[表現内容]・手紙、物の値段などの比較、友人などの説明</p> <p>[文法事項]・比較（1）（2）、関係詞</p>	
1月	Lesson 21・22	<p>[表現内容]・たこ焼きの説明など食べ物の説明、世界遺産の説明</p> <p>[文法事項]・関係詞（2）（3）</p>	
2月	Lesson 23・24	<p>[表現内容]・仮定の話、歴史や過去の事実のについての仮定</p> <p>[文法事項]・仮定法（1）（2）</p>	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	コミュニケーション 英語Ⅱ	3	2	LANDMARK English Communication II	予習ノート ワークブック

到達目標	<p>*英語を読んで、1年次に学習した英文法能力を元に、内容を理解する能力を伸ばす。</p> <p>*様々な話題を通して、国際的な感覚や深い教養、人権意識を身に着ける。</p> <p>*発音記号が読めるだけでなく、正しい音を身につける。</p> <p>*得られた言語能力を活用して積極的にコミュニケーション活動を図ろうとする態度を育成する。</p>
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・読む・書く・話す・聞く、4技能の言語活動を総合的に展開する。 ・分からない単語を辞書で調べさせ、本文の大体の意味を調べてくる事を予習として徹底させる。 また、授業中においては必要事項は生徒自らメモを取り、自ら調べる態度を養う。 ・新出の単語や既習の文法事項を中心とした重要な言語材料の理解と定着を図る。 ・訳読だけでなく、音声による内容把握にも努める。 ・多くの英文に触れさせるため、速読トレーニングを行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	L1 What' in a Name?	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しを避けるための省略 ・疑問詞+to 不定詞 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 小テスト 宿題・提出物など
5月	L2 I'm the Strongest!	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の分詞構文 ・受動態の分詞構文 	
6月	L3 Saint Bernard Dogs	<ul style="list-style-type: none"> ・強調のための倒置 ・形式目的語の it 	
7月	L4 Chanel's Style Reading 1 What Happened to Mark?	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+分詞、S+V+O+分詞 ・付帯状況を表す with+O+C ・夏休みの宿題 	
8・9月	L5 Science of love	<ul style="list-style-type: none"> ・同格の that 節 ・疑問詞+do you think(+S)+V? 	
10月	L6 Gaudi and His Messenger	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の非制限用法 ・if 節を用いない仮定法 	
11月	L7 Letters from a Battlefield	<ul style="list-style-type: none"> ・譲歩を表す複合関係詞 ・動名詞の意味上の主語 	
12月	L8 Edo: A Sustainable Society	<ul style="list-style-type: none"> ・注意すべき関係代名詞の非制限用法 ・独立分詞構文 	
1月	L9 Secret of Vermeer's Paintings	<ul style="list-style-type: none"> ・as if [though]+仮定法 ・助動詞+have+過去分詞 	
2月	L10 Bhutan: A happy Country Reading 2 My Education, My Future	<ul style="list-style-type: none"> ・強調構文 ・副詞節中の<S+be>の省略 ・春休みの宿題 	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	英語表現Ⅱ	3	2	NEW FAVORITE English Expression II	アトラス総合英語 スクランブル 英文法・語法

到達目標	<p>*設定された場面における適切な英語の表現力を養う。</p> <p>*コミュニケーションの基礎となる構文力や文法力、作文力をつける。</p> <p>*得られた言語能力を活用して積極的にコミュニケーション活動を図ろうとする態度を育成する。</p>
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	<ul style="list-style-type: none"> ・英語にたくさん触れさせることで「英語で考える」習慣をつけさせ、「書く」「話す」能力を高める ・分からない単語を辞書で調べさせ、与えられた問題をまず自分で解いてくることを予習として徹底させる。また、授業中においては必要事項は生徒自らメモを取り、自ら調べる態度を養う。 ・新出の単語・既習の文法事項を中心とした重要な言語材料の理解と定着を図る。 ・会話表現や発音問題のリスニング演習も行う。 ・NETと日本人教員とのチーム・ティーチングで英作文のきめ細かい指導を行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	Lesson 1・2・3	<p>[テーマ]・学校、健康、ペット</p> <p>[文法事項]・動詞・時制、助動詞、受け身</p>	定期考査 出席状況 授業への取り組み
5月	Lesson 4・5・6	<p>[テーマ]・勉強、職業、環境</p> <p>[文法事項]・準動詞、比較、関係詞</p>	小テスト 宿題・提出物など
6月	Lesson 7・8・9	<p>[テーマ]・社会、食生活、公共</p> <p>[文法事項]・仮定法、無生物主語・名詞構文、名詞・冠詞</p>	
7月	Lesson 10・11・12	<p>[テーマ]・心理、テクノロジー、言語</p> <p>[文法事項]・代名詞、形容詞・副詞、前置詞・接続詞</p>	
8月	Lesson 13・14	<p>[テーマ]・パラグラフの構成と書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題文と支持文 	
9月	Lesson 15・16・17	<p>[テーマ]・事実と意見の区別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の順序 ・例示 	
10月	Lesson 18・19・20	<p>[テーマ]・比較と対照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見と理由 ・原因と結果 	
11月	Lesson 21・22・23	<p>[テーマ]・アウトラインと構成要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序論と結論 	
12月	Lesson 24・25・26	<p>[テーマ]・推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの種類と構成要素 ・スピーチの実演 	
1月	Lesson 27・28・29	<p>[テーマ]・プレゼンテーションの種類と構成要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの実演 ・ディベートの概要 	
2月	Lesson 30・31・32	<p>[テーマ]・立論ーメリットとデメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反駁 ・まとめ 	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	リーディング	4	3	ELEMENT English Reading READING SKILLS BASED（啓林館）	HIT THE MARK(数研) Listening Essentials2.5(啓隆社) 10分間速読トレーニング(桐原)

到達目標	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を伸ばす。また様々な英文の題材を通してグローバルな視野を育てていく。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	<ul style="list-style-type: none"> ・スラッシュリーディングを使った速読法＋音読とリスニングで英文理解を深める。 ・演習問題による内容理解力の向上。 ・副教材を活用し、文法・語法力、リスニング力も強化する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	【教科書 ELEMENT English Reading】 Lesson1 フレーズリーディング・主語	【教科書 ELEMENT English Reading】 ・フレーズ・リーディング、推測・予測、スキミング、スキッピングというリーディング・スキルの基礎技術を身に付け、パラグラフ・リーディングを目指す。	定期考査 小テストなど
5月	と述語動詞 Lesson2 文章の構成	・比較的短い文章から中程度の長さの文でリーディングの基本を修得する練習。	
6月	Lesson3 時間順序の展開パターン Lesson4 例示・列挙の展開パターン	【副読本：センター対策リスニング】 ・週1回のペースで進めていく。	
7月	Lesson5 対比の展開パターン Lesson6 原因・結果の展開パターン	【副読本：速読トレーニング】 ・週1回のペースで進めていく。短時間で英文を読み取る力を養う。	
8月	Lesson7 言語・教育	【教科書 ELEMENT English Reading】 ・1学期に修得した Reading Skill を用いて、比較的長いまとまった量の	
9月	Lesson8 友情・愛	文章でパラグラフ・リーディングする練習を重ね、実践力を身につける。	
10月	Lesson9 経済・現代社会	・パラグラフの構成を理解させる。	
	Lesson10 外国・比較文化	・言語、生活、教育、外国、歴史、経済、文化等の話題に触れさせる。	
	Lesson11 言語・国際社会	・論説文、エッセイ、物語文等でリーディングスキルを磨く。	
11月	Lesson12 文化・歴史	【副読本：センター私大英語】 ・演習を行う。	
12月	【副読本センター私大英語】第1回～第8回		
1月	第9回～第12回	【副読本：センター私大英語】 ・演習を行う。	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
英語	ライティング	2	3	ELEMENT ENGLISH WRITING (啓林館)	Fly High!英語長文速読&精読トレーナー (東京書籍)

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。一定の長さを持つ長文の読解力をつけること。そのために必要な英語力を身につけること。 ・英語の論理に合った首尾一貫した文章を書く。 ・伝えたい内容に合った効果的な文の組み立て方を学習することをねらいとする。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年では短文の和文英訳の演習を中心に行ったが、それを基礎にして3年ではパラグラフ・ライティングの演習を中心に行う。いくつかの文章を組み合わせ、まとまった内容を伝える技術を身に付けさせる。 ・副教材を使って長文読解の演習も行う。

月	単元・教材名		指導内容		評価方法
	【教科書】	【副読本】	【教科書】	【副教材】	
4月	Part2 発展編 Lesson 1	Fly High! Level1 Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ ・趣味 ・娯楽 ・交際 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器の費用負担 ・フードマイレージ ・記憶と予測 ・自己評価と自尊心 ・外国語学習と辞書 ・高齢者の脳 ・時計の話 ・パフォーマンス向上のヒント 	定期考査に平常の取り組み状況（授業中の態度、課題の提出、小テストの成績）等を加味し、総合的に評価する。
5月	Lesson 2	Lesson 2			
6月	Lesson 3	Lesson 3			
7月	Lesson 4	Lesson 4			
		Lesson 5			
		Lesson 6			
8月	Lesson 5	Lesson 9			
9月	Lesson 6	Lesson 10			
10月	Lesson 7	Fly High! Level2			
11月	Lesson8	Lesson1			
12月	Lesson9	Lesson2			
		Lesson3			
1月	Lesson10	Lesson9 Lesson10	<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学講義 ・魚の分布 	

「学校設定科目」(指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	長文読解演習	3年文系	2	Reading Gym 英語速読テスト 標準編・発展編 (数研出版)

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 限られた時間で英語の長文を読み、その内容を的確に理解する能力を伸ばすことをめざす。 繰り返し演習問題を解くことを通して、実践的に役立つ学力の向上を図る。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	<ol style="list-style-type: none"> 速読用の長文問題を繰り返し解くことにより、英文を読む力の定着をはかる。 授業中にその場で問題を与え、時間を計測しながら一斉に読ませる。各自に自分がかかった時間を記録させ、時間を意識しながら集中して読む力をつけさせる。また短時間で内容を把握する力の向上を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	Reading Gym 英語速読テスト 標準編	Lesson 1～8	<ul style="list-style-type: none"> 授業への態度 課題などの提出状況 小テストの結果 出席状況 定期考査の得点等を総合的に評価する 	<ul style="list-style-type: none"> 指示された時間内に集中して英文を読むかを観察する。 説明されたことや板書をきちんとノートに取っているかを点検する。 習ったことをその都度復習し、習得しているかどうかを、小テスト等で確認する。
5月		Lesson 9～14		
6月		Lesson 15～22		
7月		Lesson 23,24		
8月	Reading Gym 英語速読テスト 入試編	Lesson 1～6		
9月		Lesson 7～12		
10月		Lesson 13～18		
11月		Lesson 19,20		
12月		Lesson 21～24		
1月				

「学校設定科目」(指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
外国語	パワーアップ イングリッシュ	3年	2単位	フォーカス・ファインダー 英文法・語法問題

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の基本である語彙力の強化を図る。 ・文法規則を確実に理解し運用できる力をつける。 ・基本的な構文をしっかりと身につける。
到達目標に向けて の具体的な取組 【指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> ・語法・文法・構文の演習問題をくり返し解くことにより、英文構成力の定着を図る。 ・身につけた語彙・構文・文法の力を用いて、長文読解・英作文などの総合的な問題にも対応できるよう、演習を重ねる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	フォーカス・ファインダー 英文法・語法問題	第1～6章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への態度 ・ 課題などの提出状況 ・ 出席状況 ・ 定期考査 	[関心・意欲] <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に意欲的に参加しているか ・ 提出物はきちんと提出しているか
5月		第7～13章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への態度 ・ 課題などの提出状況 ・ 出席状況 ・ 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して予習・復習をしているか
6月				[思考・判断] <ul style="list-style-type: none"> ・ 各文法事項を正しく理解しているか
7月		第14～20章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への態度 ・ 課題などの提出状況 ・ 出席状況 ・ 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違った問題の見直し、きちんとできているか
8月				[技能・表現] <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した文法事項を用いて、英語での表現力の幅が広がったか
9月				<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で表現しようという意欲が高まったか
10月	第21章～第24章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への態度 ・ 課題などの提出状況 ・ 出席状況 ・ 定期考査 	[知識・理解] <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法事項を体系的に理解できているか 	
11月			<ul style="list-style-type: none"> ・ 応用問題に対応できるか 	
12月	第25～28章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への態度 ・ 課題などの提出状況 ・ 出席状況 ・ 定期考査 	以上の4観点について	
1月			<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への態度 2. 課題提出状況 3. 出席状況 4. 定期考査 により、学期ごとに総合的に評価する	